

## 1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input checked="" type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input checked="" type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input checked="" type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、地域の「ひと・もの・こと」を教育活動に生かし、「いのち・人権」「環境」「郷土・国際理解」の視点から ESD の推進を図ってきた。授業では「関心の喚起⇒理解の深化⇒参加する態度や問題解決能力の育成」を通して、具体的な行動を促すという一連の流れを大切にしている。また、子どもたちが思考力を大いに発揮し、コミュニケーションの活性化を図って課題追究ができるように、体験活動を位置づけた学習を展開している。



## 3 特徴的な活動事例の紹介

### ○ 「いのち・人権」に係る学習

3年生「吉野のやさしさ伝え隊」では、地域の見守り隊の方や民生委員・児童委員の方々の思いや願いを聞き、自分自身がたくさんの人から愛情を注がれ、大切にされていることに気づくとともに、地域の方々のために、自分たちに何ができるかを考えた。民生委員さん達の話から、吉野の地域には、ご高齢の方がとても多いという実態があることを知り、まずはお年寄りの方の気持ちに寄り添うために、高齢者体験を行った。そこから、体の不自由なお年寄りがどんなことに困っているのかを知り、これから地域の方とどのように関わっていきたいか、行動目標をたてることができた。



## ○「環境」に係る学習

4年生「生き生きビオトープ大作戦」では、専門家の方からご指導いただきながら、学校の中庭にあるビオトープの維持管理活動を行った。日本の固有種を守り育てていくために、看板を立ててビオトープについて下級生や校外の人に知らせたり、生き物のすみかとなりやすい空間をつくったりして、自分たちにできる活動を行った。

活動を通して、ビオトープやその周辺を「自然の中のいのちがつながる場所」として守り育てていきたいという思いをもち、生物多様性の意味やその素晴らしさを知ることができるようにした。



## ○「郷土・国際理解」に係る学習

5年生「桜プロジェクト」では、吉野のまちにたくさんあった桜に対する、地域の方々の思いや願い、そして現在の桜の状態について取材したり調査したりする活動を行い、地域の方と協働しながら桜を通したまちづくりの実践を行った。これから先も満開できれいな桜が咲くように、市役所の環境業務課の方々にお越しいただき、段ボールコンポストでの桜の堆肥作りを行った。自分たちの手で美しい桜を未来へつないでいきたいという思いをもつことができた。



## 3 今後の活動計画

学校教育目標「持続可能な者会作りを担う、心豊かでたくましい吉野の子どもの育成」とし、目標とする児童の姿や授業展開、学習内容を見直しながら、次年度も「いのち・人権」「環境」「郷土・国際理解」を中心に取組の充実を図りながら学校全体で推進していく。そのために、

- 横断的・総合的なE S Dの実践になるよう、各学年の実践の成果と課題を洗い出し、次年度に向けたカリキュラムの改善を図る。
- 目指す子ども像を明確にし、その達成に向けて身近な「ひと・もの・こと」をどのように活用すれば効果的かを考え、魅力のある教材づくりを行う。
- 様々な体験活動や協働学習を効果的に位置づけ、子ども達が自ら進んで活動を広げていくことができるようにする。